

富山大学 薬学部 学生後援会

平成 22 年度 保護者懇談会

平成 22 年 10 月 30 日（土）午後 1 時 30 分

富山大学杉谷（医薬系）キャンパス講義実習棟 304 講義室

次 第：

- ・開会の辞
- ・ご挨拶 学生後援会会長 鍛冶 利幸 様
- ・富山大学薬学部の現状 学生後援会副会長（薬学部長）今中 常雄
- ・事業中間報告
 - ・庶務
 - ・課外活動，奨学資金援助
 - ・広報
 - ・課外教育（薬剤師国家試験対策、TOEIC 講習）
 - ・就職状況
 - ・その他
- ・質疑応答
- ・閉会の辞

配布物一覧

本資料

富山大学薬学部パンフレット

富山大学トムズプレス

課外活動に対する補助金

(略)

奨学資金援助

(略)

広報活動

ホームページにて春の総会、秋の懇談会のお知らせとご報告を行っております。

「薬学部学生後援会ホームページ」

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

をご覧ください。

平成 22 年度薬剤師国家試験対策

第 95 回薬剤師国家試験

試験期日： 平成 23 年 3 月 5 日（土），6 日（日）

合格者発表： 平成 23 年 3 月 30 日（水）

本年度試験対策

模擬試験のみ実施する。講習会はなし。

模擬試験受験者数

4 年次生： 1 名

大学院生： 4 名

計： 5 名

試験回数： 5 回

試験日：

第 1 回 10 月 16 日（土），23 日（土）

第 2 回 11 月 13 日（土），20 日（土）

第 3 回 12 月 4 日（土），18 日（土）

第 4 回 1 月 7 日（金），8 日（土）

第 5 回 2 月 18 日（金），19 日（土）

第 94 回国家試験実績

富山大学

総受験者数 48 名，合格者数 30 名，合格率 62.5%，国立大学 1 位，全体 28 位

新卒者数 7 名，合格者数 6 名，合格率 85.7%，国立大学 1 位，全体 2 位

全体

総受験者数 6,720 名，合格者数 3,787 名，合格率 56.35%

新卒者数 1,318 名，合格者数 523 名，合格率 39.68%

TOEIC 受験援助による就職支援

1. 二つの活動内容

TOEIC＝国際英語コミュニケーション能力試験(英語コミュニケーション能力の物差しとして通用)

(1) TOEIC 講習会の開催(11月の第一土曜日に実施)

(実施目的) TOEIC 受験のための学習方法の伝授と指導

(2) TOEIC-IP テスト(団体特別受験制度。IP:Institutional Program)(キャンパステスト)

(冬休み明け1月の最初の土曜日に実施)

* 有効性は TOEIC 公開テストと同等。

* 公式認定証は発行されないが、格安。

(注)企業・大学院入試で公式証明証を求める場合もあるので注意!

(実施目的) 講習会で学んだことを、自分で IP テストまでの2ヶ月の間に実践し、TOEIC に挑戦する。

＝学力の確認、目標の再発見。

【二つの活動を通してのねらい】

- A. 学習方法を理解する(講習会)。(11月)
- B. 自分の学力を知る(IPテスト)。(1月) (11月から1月までの間、自己学習)
- C. 3年時以降において継続的に TOEIC/英語学習に取り組む風土(学生文化)を築く。

2. 支援対象と支援内容

- 創薬科学科(3年以降)＝主たる支援対象

- 1. 講習会への優先的参加と受講費の支援(3,4年生全員が対象)
- 2. 講習会教科書代の支援(1回分)。
- 3. TOEIC-IP テスト(杉谷キャンパス実施(1月分))の受験費(1回分)

- 薬学科(3年以降)(および薬系大学院生)＝追加枠内での支援(一定の受講料で参加を認める)

受講料は 5000 円(教科書代を含む)(IP テストは各自自費で参加)

3. 昨年度の実施内容

(1) TOEIC 講習会

名古屋イーオン社から、TOEIC 指導に精通した講師を招き、土曜日一日、13:00～19:00 で集中講義。

* :参加希望者多数のため、2クラスで実施。

(2クラス目の開講については学部の資金を利用(講演会は1クラス分))

(参加人数が多かった理由)H20 年度に一度受講した学生も多く参加(原因:大手語学学校の講師の授業に関心?)

(2) 講習会への学生の評価

	わるい／いいえ		⇔	よい／はい	
	1	2		3	4
回答者数：69名					
1. レッスンに満足したか？	0人	0人	1人	26人	42人
2. 内容を理解できたか？	0人	0人	1人	33人	35人
3. 音読は為になったか？	0人	1人	3人	20人	45人
4. TOEIC 対策は為になったか？	0人	1人	2人	27人	39人
5. 時間帯・曜日設定には満足か？	1人	4人	19人	25人	20人
6. 身につけている実感があるか？	1人	7人	29人	27人	5人
7. 今回の研修を今後も続けたいか？	0人	1人	21人	34人	13人
8. 教師には満足か？	0人	0人	1人	26人	42人
9. 教師の教え方は良いか？	0人	0人	3人	23人	43人
記述回答：					
<ul style="list-style-type: none"> ・最初と最後でCDのスピードが変わったように感じてすごかったです。 ・声に出すとやっぱり覚えやすい。 ・問題の解き方とかも聞きたかった。 ・勉強の仕方がわかってよかった。 ・練習を続けて行こうと思います。 ・今までの英語とは違ってよかった。 ・チェックシートをメールで送らないといけないと思うと、サボる気がなくなるので、良いと思います。 ・継続して英語が身につくという実感が沸くよう頑張ろうと思いました。 ・出来れば長期で継続な研修が良かった。 ・長時間だったけれど、興味深く聞くことができとてもよかった。音楽を使った学習法がおもしろかった。 ・音読ははじめは戸惑ったが、慣れてくると楽しさも感じることができて最初聞き取れなかった英文が聞き取れるようになったことは自分でも驚いた。 ・リスニングの時間が長い方がよかった。 ・英語を口に出して言うのがひさしぶりだったので、なかなか難しかったけど、ためになりました。 					

(3) IPテスト(1月に杉谷で実施)の成績の結果(TOEIC講習会受講者の成績)

受験者数：32名
・最高点：715点 ・平均点：503点 ・最低点：325点

(参考)H20年度の成績：TOEIC講習会受講者、平均459.5点(主に3年生)、創薬科学科学生で講習会非受講者(キャンパステストのみ)、平均307.5点。

4. 今年度についての中間報告

(1) 実施内容

a TOEIC講習会：11月6日(土)実施予定。

TOEIC指導を専門的に行っているイーオン社講師(名古屋)2名をまねき、2クラスで実施。

- ・後援会で新規受講者分を資金援助。(20万円程度、講師代+教科書代)
- ・もう一つの昨年度受講者用のクラスについては薬学部が資金を担当。(12万円程度、講師代)

① 新規受講者用コース

				講座名	講座内容
13:00	～	13:30	①	TOEIC 概要	TOEIC とは？昨今の受験傾向など
13:30	～	14:50	②	音読トレーニング	「音読」を通じて TOEIC の効果的な学習法をご紹介
14:50	～	15:10		休憩	
15:10	～	16:20	③	TOEIC 講座	☆リスニング：パート毎の解法のコツや、ひっかけ問題対策
16:20	～	16:30		休憩	
16:30	～	17:40	④	TOEIC 講座	☆リーディング：パート毎の解法のコツや、ひっかけ問題対策
17:40	～	18:00		休憩	
18:00	～	18:40	⑤	音読トレーニング(音楽)	「洋楽」を通じて、カラオケでも音読が学習できます
18:40	～	19:00	⑥	添削講座	講座終了後も、自宅で音読を続けましょう。レポートの報告方法

② 昨年度受講者用コース

				講座名	講座内容
13:00	～	13:30	①	英会話でゲーム	簡単な英語でのゲームで、レッスン前のウォームアップ
13:30	～	14:50	②	音読トレーニング	「音読」の、新たな学習法を加えたトレーニングご紹介
14:50	～	15:10		休憩	
15:10	～	16:20	③	TOEIC 講座	☆リスニング：パート毎の解法のコツや、ひっかけ問題対策
16:20	～	16:30		休憩	
16:30	～	17:40	④	TOEIC 講座	☆リーディング：パート毎の解法のコツや、ひっかけ問題対策
17:40	～	18:00		休憩	
18:00	～	18:40	⑤	音読トレーニング(音楽)	「洋楽」を通じて、カラオケでも音読が学習できます
18:40	～	19:00	⑥	添削講座	講座終了後も、自宅で音読を続けましょう。レポートの報告方法

b TOEIC-IP テスト(杉谷):1月8日(土)実施予定。

(2) 講習会(11/6)についての現状報告

ー 講習会参加予定(申込み結果): 35名

(内訳) ① 新規受講者用コース(31名)

創薬科学科3年 21名。

創薬科学科4年 5名。(昨年度の講習会を受講しなかった学生)

薬学科学学生/大学院生 5名。

② 昨年度受講者用コース(4名)

創薬科学科4年 4名。

ー IPテスト参加予定(アンケート結果):

講習会新規参加学生(31名)のうち、

受検予定 27名(うち初回受験の創薬学生 22名)

未定 3名

受検しない1名

5. 課題

問題点1: 2クラス目を開講すべきか?

(対策) 来年度から、昨年度受講者用コースについては、

(a) 今年度参加する学生の反応を見た上で、好評なようであれば、

(b) 事前に希望調査を取り、多数希望者がいる場合に、実施を決める。

問題点2: 参加者を増やす。

(対策) より多く参加してもらうための対策としては;

(1) 年度初めの、3、4年生へのオリエンテーション(4月)だけでなく、

(2) 後期の始まり(10月)に、必修講義の冒頭の時間等を借り、学習の必要性を含め、告知する。そして、

(3) 保護者の皆様の、お子さんへの意識喚起、支援もお願いします。

就職状況（平成21年度）

薬学部

・（ ）内数字は女子の就職・進学者数を内数で示す

○印は富山県内

創薬科学科（39名）

製造業：1

進学：38

○富山大学大学院医学薬学教育部へ進学 37（12）

他大学の大学院へ進学 1

薬科学科（7名）

調剤薬局：2（ともに県内）

病院：1（県外）

進学：4

○富山大学大学院医学薬学教育部へ進学 4

医学薬学教育部修士課程

薬科学専攻（51名）

製造業：23（7）うち県内6（1）

卸売業、小売業：7（3）うち県内3（2）

医療、福祉：11（6）

サービス業：4（4）

地方公務員：2（0）うち県内1（0）

進学：4（0）いずれも富山大学大学院医学薬学教育部

臨床薬学専攻（13名）

卸売業、小売業：1（1）

医療、福祉：9（8）うち県内1（1）

進学：3（1）いずれも富山大学大学院医学薬学教育部

医学薬学教育部博士課程（5名）

製造業：1（0）

教育・研究：3（2）うち県内（本学和漢医薬学総合研究所）2（1）

病院：1（0）

その他

学部生，大学院生の研究活動（平成 21 年度）

学会での受賞

学部生

平成 21 年度有機合成化学北陸セミナー
ポスター優秀発表賞

大学院生

生体機能関連化学若手の会第 21 回サマースクール
優秀ポスター講演賞

日本薬学会北陸支部第 121 回例会
大学院優秀発表賞

平成 21 年度有機合成化学北陸セミナー
プレゼンテーション賞

第 82 回日本生化学会大会
プレゼンテーション賞